

# AI活用を前提としたサイト設計ワークシート

このワークシートは、AIによる自動化を前提としたWebサイト設計を体系的に整理し、実務に落とし込むためのものです。各項目を具体的に記述することで、AI活用の方向性を明確にし、効果的なサイト構築を支援します。

## 1. サイトの目的を明確にする（AI活用前提）

AIを効果的に活用するためには、サイトの目的を明確にし、AIが貢献すべき具体的な目標を設定することが不可欠です。

### 1-1. サイトの主要な目的

貴社Webサイトの最も重要な目的は何ですか？（複数選択可、優先順位を付けてください）

- ブランド認知向上
- リード獲得（見込み顧客情報の収集）
- ECサイトでの売上最大化
- 顧客サポート効率化
- 採用活動強化
- その他（具体的に記述）：

AIに期待する役割を具体的に記述してください。

### 1-2. 主要KPIとAIによる自動化設計の関係

上記目的を達成するための主要なKPI（重要業績評価指標）を記述し、それぞれのKPIに対してAIがどのように貢献できるかを検討してください。

サイトの目的 (例)	主要KPI (例)	AIが貢献すべき具体的な内容 (例: コンテンツ自動生成、パーソナライズ、チャットボット)
ブランド認知向上	ページビュー数、滞在時間	ターゲットに合わせたコンテンツ自動生成、SNS連携、SEO最適化
リード獲得	資料ダウンロード数、問い合わせ数	フォーム最適化、パーソナライズされたCTA表示、リードスコアリング、メール自動配信
ECサイト売上最大化	コンバージョン率、平均注文単価	商品レコメンデーション、動的価格設定、在庫最適化、チャットボットによる購買支援
顧客サポート効率化	解決率、応答時間、FAQ閲覧数	FAQ自動応答システム、チャットボット、問い合わせ内容の自動分類、ナレッジベースの自動更新

## 2. ターゲットとペルソナ設計

データに基づいたペルソナ設計は、AIが提供する情報やサービスを最適化し、属人性を排除するために重要です。

### 2-1. ターゲット顧客層の概要

貴社Webサイトの主要なターゲット顧客層について記述してください。

### 2-2. AIを活用したペルソナ仮説の生成

AIによる分析を前提としたペルソナ仮説を構築するために、以下の項目を検討してください。

- 分析に利用するデータソース: (例: 既存顧客データ、Webサイトアクセスログ、SNSデータ、市場調査データ)
  -
- AIが抽出した主要な行動パターンや興味関心: (AI分析結果を想定して記述)
  -
- ペルソナのデモグラフィック情報: (年齢、性別、居住地、職業、年収など)

- - **ペルソナのサイコグラフィック情報:** (価値観、ライフスタイル、興味関心、購買動機、課題意識など)
    -
  - **ペルソナのサイト内行動データ:** (閲覧コンテンツ、検索キーワード、利用デバイス、滞在時間など)
    -
  - **ペルソナの課題とニーズ:** (貴社製品・サービスで解決できる課題、求めている情報など)
    -
- 

## 2-3. データ起点設計のメリット

データ起点でペルソナを設計することで、どのようなメリットが期待できますか？

- 客観性の確保
  - 再現性の向上
  - 施策改善サイクルの高速化
  - 属人性の排除
  - その他 (具体的に記述):
- 

## 3. コンテンツマップと導線設計

---

AIによるコンテンツ量産を効果的に行うためには、サイト全体の構造とユーザー導線を事前に綿密に設計する必要があります。

### 3-1. サイト全体の情報アーキテクチャ (IA)

サイトの階層構造と主要なカテゴリ/セクションを記述してください。

- **サイトマップの階層構造:** (例: トップページ > サービス > 各サービス詳細)
  -

- **主要なカテゴリ/セクション**

- ン: (例: 製品情報、ソリューション、ブログ、企業情報)

- 

---

### 3-2. コンテンツマップとAIによる生成対象

各ページで提供すべきコンテンツの種類と目的を記述し、AIによる生成対象となるコンテンツを特定してください。

ページ名/カテゴリ (例)	コンテンツの種類と目的 (例: 製品紹介、課題解決、情報提供)	AIによる生成対象 (例: ブログ記事、FAQ、製品スペック説明)
トップページ	サイトの全体像、主要サービスへの誘導	(基本的には人間が設計)
ブログ (カテゴリA)	関連キーワードでの情報提供、潜在顧客の集客	広範なキーワードに基づく記事の自動生成
FAQ	ユーザーの疑問解決、サポートコスト削減	問い合わせデータからのFAQ自動生成・更新

---

### 3-3. 導線設計とBOFU / MOFU / TOFU構造との接続

ユーザーがサイト内でどのように移動し、目的を達成するかを設計し、マーケティングファネル (TOFU/MOFU/BOFU) の各段階に合わせたコンテンツとAIの役割を検討してください。

- **ユーザーの主要なジャーニーパス:** (例: 検索エンジン > ブログ記事 > 関連サービス紹介 > 資料ダウンロード)

- 

- **AIによる内部リンク最適化の計画:** (例: 関連コンテンツへの自動リンク、パーソナライズされたレコメンデーション)

-

ファネル段階	コンテンツの目的（例）	AIによる生成対象コンテンツ（例）	AIの役割（例）
TOFU（認知・興味）	潜在顧客の注意喚起、興味の喚起	広範なキーワードに基づくブログ記事、インフォグラフィック	ブランド認知向上、集客
MOFU（検討）	解決策や製品・サービスの検討促進	比較記事、事例紹介、ホワイトペーパー、ウェビナー案内	顧客理解の深化、検討の後押し
BOFU（行動・購入）	最終的な意思決定の後押し、コンバージョン	製品詳細ページ、FAQ、導入ガイド、顧客レビューの要約	コンバージョン率向上、購買支援

## 4. 最低限必要なページ構成

AIによるコンテンツ自動生成を前提とし、サイトの運用効率と効果を最大化するためのページ構成を検討します。

### 4-1. AI自動生成/動的表示に置き換えるページ

AIによる自動生成や動的な表示に置き換えることで、手動での更新コストを削減できるページを記述してください。

ページ名/種類（例）	AIによる自動化内容（例：外部ソースからの情報収集・要約、テンプレート生成）
ニュースリリース/お知らせ	外部ソースからの情報収集・要約、RSSフィード/API連携による動的表示
よくある質問（FAQ）	問い合わせ履歴からのFAQ自動生成・更新、チャットボット連携
製品・サービスの詳細ページ（一部）	基本スペックや特徴説明のテンプレート自動生成
ブログ記事（特定のテーマ）	SEO対策としてのニッチなテーマの記事自動生成

## 4-2. 必ず必要なコアページ（人間が設計・管理）

AIによる自動化が困難であり、人間の手による綿密な設計と継続的な管理が不可欠な「コアページ」を記述してください。

ページ名/種類（例）	人間が介在する理由/重要性（例：ブランド価値の伝達、信頼性確保、法的要件）
トップページ	サイトの顔、ブランド価値の伝達、第一印象の決定
会社概要/企業情報	企業の信頼性担保、アイデンティティの伝達
お問い合わせ/資料請求ページ	コンバージョンに直結、フォームの使いやすさ、プライバシー配慮
プライバシーポリシー/利用規約	法的要件の遵守、専門家による監修
主要な製品・サービス紹介ページ	価値の深い伝達、ストーリーテリング、顧客体験の提供

## 4-3. LPとコーポレートサイトの役割分離

ランディングページ（LP）とコーポレートサイトの役割を明確に分離し、それぞれのAI活用方法を検討してください。

サイトの種類	目的（例）	AI活用方法（例）
ランディングページ（LP）	特定の目的達成（資料ダウンロード、商品購入）	A/Bテスト、パーソナライズされたコンテンツの動的表示、コンバージョンに繋がるコピー提案
コーポレートサイト	企業の全体像、ブランド価値、事業内容の伝達	情報検索、FAQ、コンテンツ更新補助

このワークシートを活用し、AIを最大限に活かしたサイト設計を進めてください。